

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 1年生

留学先大学 (国名)	大連理工大学 (中国)
短期研修のプログラム名	大連理工大学機械工程学院サマーキャンプ
留学した期間	二週間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

IELTS の課外授業で紹介せられ、興味を持った。
頂いたパンフレットに書かれた URL からオンラインで申し込んだ。
語学対策は特にしていない。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

日中は授業。内容は、レーザー加工や3Dプリンターの使用方法を教えてもらったり、実践をしたり。基本英語の授業。中国語のレッスンや研究室見学の授業もあった。
すべての学生に現地の日本語専攻の生徒さんがついて下さり、内容についていけなくなることはなかった。現地の生徒さんがご飯も一緒に食べてくれるので、交流する機会はたくさんある。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

Wechat という中国版の Line を日本でインストールしたほうが良い。これで、中国では連絡が取れる。VPN つきの wifi や sim カードを日本で買っていくとついてからすぐ連絡が取れる。空港に sim カードが売っているが、その値段は日本と変わらないので日本で買うべき。人によっては水質が合わなくてペットボトルの水を飲んでもおなかを壊してしまう。なれるのに一週間ぐらいかかるので、その薬は必要。また、腹痛で部屋から出られなくなった時のためにカップ麺などの食事を持っていくとよいかもしれない。
ただ、基本的には現地の生徒さんに連絡すれば何でもしてくれるので過度に心配する必要は全くない。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危険を感じたことは特になかった。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

2週間があっという間だった。初めて海外に行く方に特におすすめ。行って後悔する可能性はないと思うので後先考えずとりあえず行ったらいいと思う。それで何とかなるところです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

短期研修報告書

記入 | 令和元年 9月
所属 & 学年 | 工学部 1年生

留学先大学 (国名)	大連理工大学 (中国)
短期研修のプログラム名	大連理工大学機械工学院サマーキャンプ
留学した期間	2019/8/18~8/31

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学に興味があり、機械系のことが学べると聞いたので応募しました。授業は全て英語だと聞いていたので、英語の勉強にもなると思い、行くことにしました。また、宿泊費や食費を負担してもらえるとのことだったので、経済的にも参加しやすかったです。自分で用意したのは航空券のみです。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

毎日 8 時半から授業がありました。授業は 3D プリンターを用いての実習や、レーザーカッターを使用して飛行機を製作したり、普通の大学の授業ではできないようなことを経験することができました。機械系の勉強だけでなく、工場を見学したり、中国語を教えてもらったり、本当に様々な体験ができました。また、昼休みは、毎日少なくとも 2 時間はあり、ご飯を食べた後は、寮に帰って昼寝をしたりゆっくりと過ごすことができました。そしてなにより、日本語が話せる現地の学生さんが一人ずつ付いてくれたことが本当にありがたかったです。困ったときはその方に聞けば、なんでも助けてくれました。授業後は観光したり、買い物に行ったり、いろいろな話もできて、とても楽しかったです。出発前 2 週間は長いと思っていましたが、本当にあっという間でした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

留学生寮のようなところに滞在しました。部屋は想像の倍以上も広く、綺麗です。部屋に入るまでに、鍵が二重になっており、安心できると思います。また、部屋に洗濯機やエアコンもあり、とても快適に過ごせました。シャワーも十分な水圧で、温かい水も出ます。冷蔵庫もありました。そして、近くにコンビニやちょっとしたスーパーもあり、お菓子やパン、飲み物などはいつでも買いに行けました。食事は辛いものや味の濃いものが基本でしたが、どれも日本では食べることでできないようなものばかりで美味しかったです。ただ、どれが原因かはわかりませんが、腹痛ほどまではいかないものの終始お腹が緩かったです。そのため、胃腸薬は必須でした。他には、SIM カードは持って行ってよかったです。私は、留学前に日本の Amazon で SIM カードを購入しました。日本で購入した SIM カードを使えば、日本と同じようにインターネットが使えました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危機というほどのことではありませんが、道を渡るときには毎回覚悟が必要でした。現地の方々には横断歩道がなくとも平気で大きい道路を渡ろうとします。最後までその状況には慣れず、ヒヤヒヤしていました。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

留学を終えて、一番に言語の学習は非常に大切だと痛感しました。現地の学生さんが日本語が話せるおかげで、たくさん交流できました。海外の人とこんなにも交流できたのは初めてだったので、とても感動しました。言語さえ学べば、海を越えて、こんなにも様々な人たちと交流できるんだと気付かされました。留学しようか迷っているなら、是非行くべきだと思います。私も留学するかとても迷いましたが、実際に行ってみて、心から行ってよかったと思いました。この2週間で自分自身が大きく成長できたと実感します。得るものは非常に多くありましたし、とても楽しい2週間でした。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	85000 円	中国南方航空 中部国際空港から大連周水子国際空港
海外旅行保険	5000 円	
授業料 (教材費含)	円	
滞在費 (寮費など)	円	
食費	円	
交通費	500 円	タクシー代、地下鉄代、バス代など
その他 (小遣い、通信費など)	10000 円	
計	100500 円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

中国、大連では、噴水がとても綺麗です。大連の中には噴水が行われているところが3ヶ所あるらしいです。曲に合わせて盛大に噴水が光る演出が、よくわかりませんがこの留学の中で一番中国らしいように感じました。



内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	5万円	セントレアから行くと高いので関空から行きました。往復新幹線を使ってもこっちのほうが安いです。あと、時間的ゆとりもできます。
海外旅行保険	5千円	
授業料(教材費含)	0円	大学負担
滞在費(寮費など)	0円	大学負担
食費	0円	現地で、大学から食費として600元もらえます。中国で食事をするには十分すぎる金額です。
交通費	1.5万円	関空までの新幹線代、
その他(小遣い、通信費など)	8千円	買い物5千円、simカード3千円
計	7.8万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

物価がとにかく安いので何をするにもお得感がすごいです。タクシーも初乗り160円くらいなので複数人で乗ればとても安いです。授業が毎日5時に終わるので、そのあと観光に行ったり現地の生徒とバスケや卓球をしたり中国を満喫できます。

みんな同じ寮(二人一部屋でそこそこ広い)で暮らすので、一人で申し込んでもすぐ友達ができる毎日誰かの部屋に行けます。東北大学も同じプログラムに参加するので、仙台に友達が増えます。